



2026年10月期 第2四半期決算補足説明資料

株式会社モルフォ（東証グロース：3653）

2026.6.12



Vision

Rise above what we see, to realize what we feel

-人間の目を拡張し、感動に満ちた世界を実現しよう-

目次

1. エグゼクティブサマリー
2. 2026年10期 第2四半期連結決算概要
3. 2026年10期 トピックス
4. 2026年10期 通期連結業績予想
5. Appendix

1. エグゼクティブサマリー

エグゼクティブサマリー（2026年10期 第2四半期連結累計）



- 中期経営計画「Vision 2027」が（労働集約型）から製品ライセンス（ストック型）への事業構造転換を推し進める中で、低粗利な受託案件を徹底的に排除・選別し、そこで創出したエンジニアリソースを「車載AI」や「ウェアラブルデバイス」といった次世代の成長ドライバーへ前倒して集中投下を実施
- 画像処理ソフトウェア市場が、従来のスマホOEM向けにEISやHDR等の単機能SDKを個別にライセンス提供する市場から、「車載カメラ、スマホ・ウェアラブルデバイス、DX空間認識において、最新SoC/NPUや生成AI・OSエコシステムと密結合する「視覚AIプラットフォーム」へパラダイムシフトする中、当社は旧来型の個別ライブラリを統廃合し、次世代の共通AIプラットフォーム（ライセンスモデル）へリソースを集中させる構造改革を実施。
- 上期は中国スマートデバイスおよび国内車載領域の開発遅延により一時的な収益ボトム。上期を明確な底として、下期は収益回復を見込む。スマートデバイス領域では、スマートフォン依存から脱却し、スマートグラスをはじめとする新デバイスの受注獲得が順調に進捗。また、車載領域におけるADAS大型案件の獲得に加え、防衛分野等のDX領域では独自の画像処理AIソフトウェアの実装が開始。これら高付加価値な成長領域への注力を一段と加速させ、持続的な企業価値向上を目指す。

エグゼクティブサマリー（2026年10期 第2四半期連結累計）



- 2026年10期 第2四半期は、売上高1,152万円（前年同期比24.8%減収）
売上高は、開発収入は車載領域の減少により前期比▲20.3%減、ロイヤリティ収入は半導体市況高騰にともなうスマートフォンメーカーの生産調整による出荷数減の影響により前期比▲32.5%減。同営業損失は、539百万円（前年同期比▲431百万円と減益）
- 将来の戦略的ビジネスへのシフトに向けて、当社が販売目的で保有しているソフトウェアおよび開発中のソフトウェアについて厳格に再評価を実施。結果として回収可能性の低い資産、旧世代ライブラリについて一過性費用として除却を実施。保有資産の健全化が完了し、今後の償却費負担が軽減され収益性の向上を見込む

計上区分	主な対象資産	計上額
特別損失 （構造改革費用）	次世代戦略プロダクトとの親和性の低いソフトウェア	143百万円
特別損失（減損損失）	その他固定資産	40百万円

2. 2026年10期 第2四半期連結決算概要

連結PLサマリー



- 売上高 : スマートフォン出荷減少や車載領域の開発縮小により減収
- 営業利益 : 固定費比率が高い収益構造のため売上減少が営業利益減益に直結
- 経常利益 : 補助金収入、為替差益が寄与したが、営業利益の悪化を吸収できず減益

(単位: 百万円)	2025/10期 2Q	2026/10期 2Q	増減
売上高	1,531	1,152	▲379
売上総利益	788	383	▲405
営業利益	▲108	▲539	▲431
経常利益	▲129	▲464	▲334
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲192	▲681	▲489

連結BSサマリー

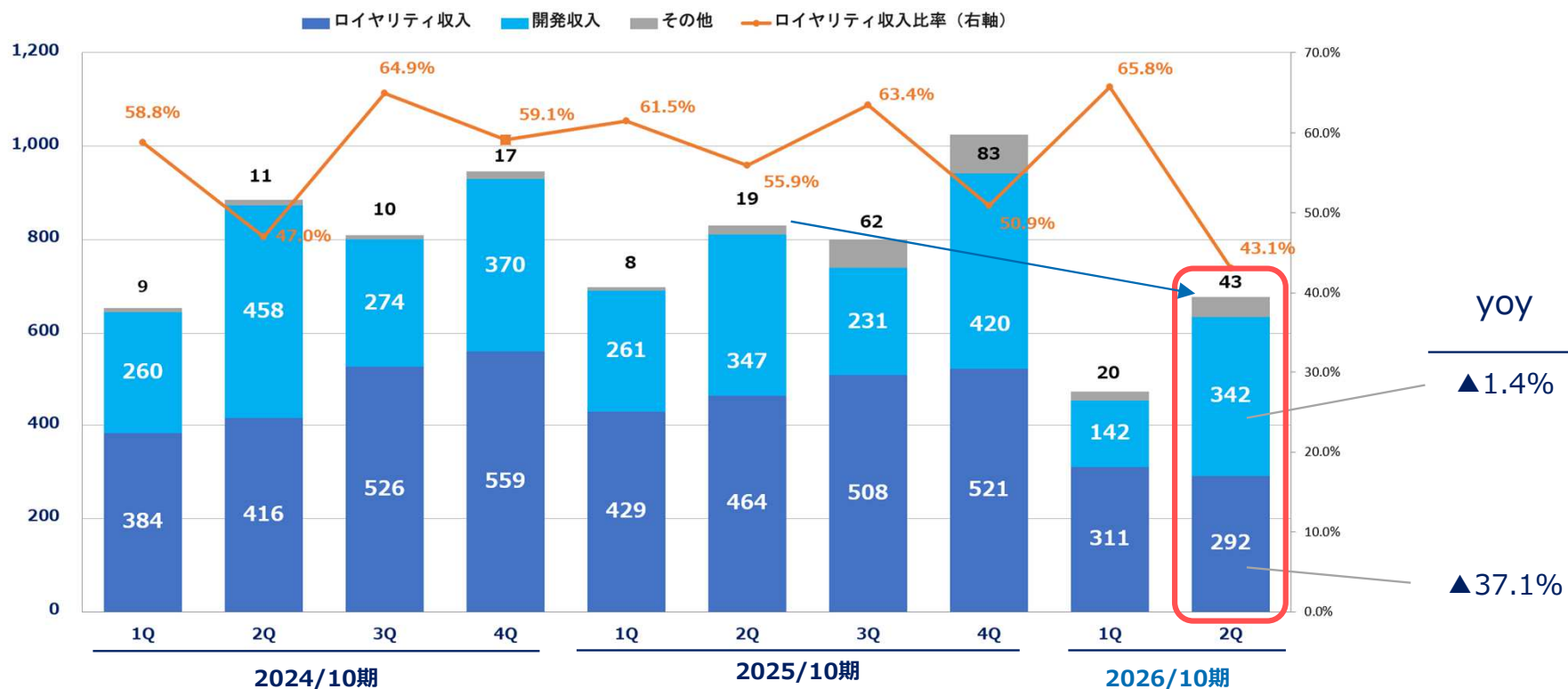


(単位：百万円)		2025/10期 期末	2026/10期 2Q	増減	主な要因
	流動資産	3,249	2,599	▲650	現預金・売掛金の減少
	固定資産	896	857	▲38	固定資産減損
資産合計		4,146	3,456	▲689	
	流動負債	467	449	▲17	
	固定負債	58	59	+1	
負債合計		526	509	▲16	
純資産合計		3,619	2,946	▲672	当期純損失の計上
負債・純資産合計		4,146	3,456	▲689	

売上収益構成（四半期推移）

- 開発収入：車載向け開発収入減少をDX領域向け開発収入でカバーし前年同四半期比▲1.4%
- ロイヤリティ収入：半導体市況の高騰によるスマートフォンの出荷減の影響により前年同四半期比▲37.1%

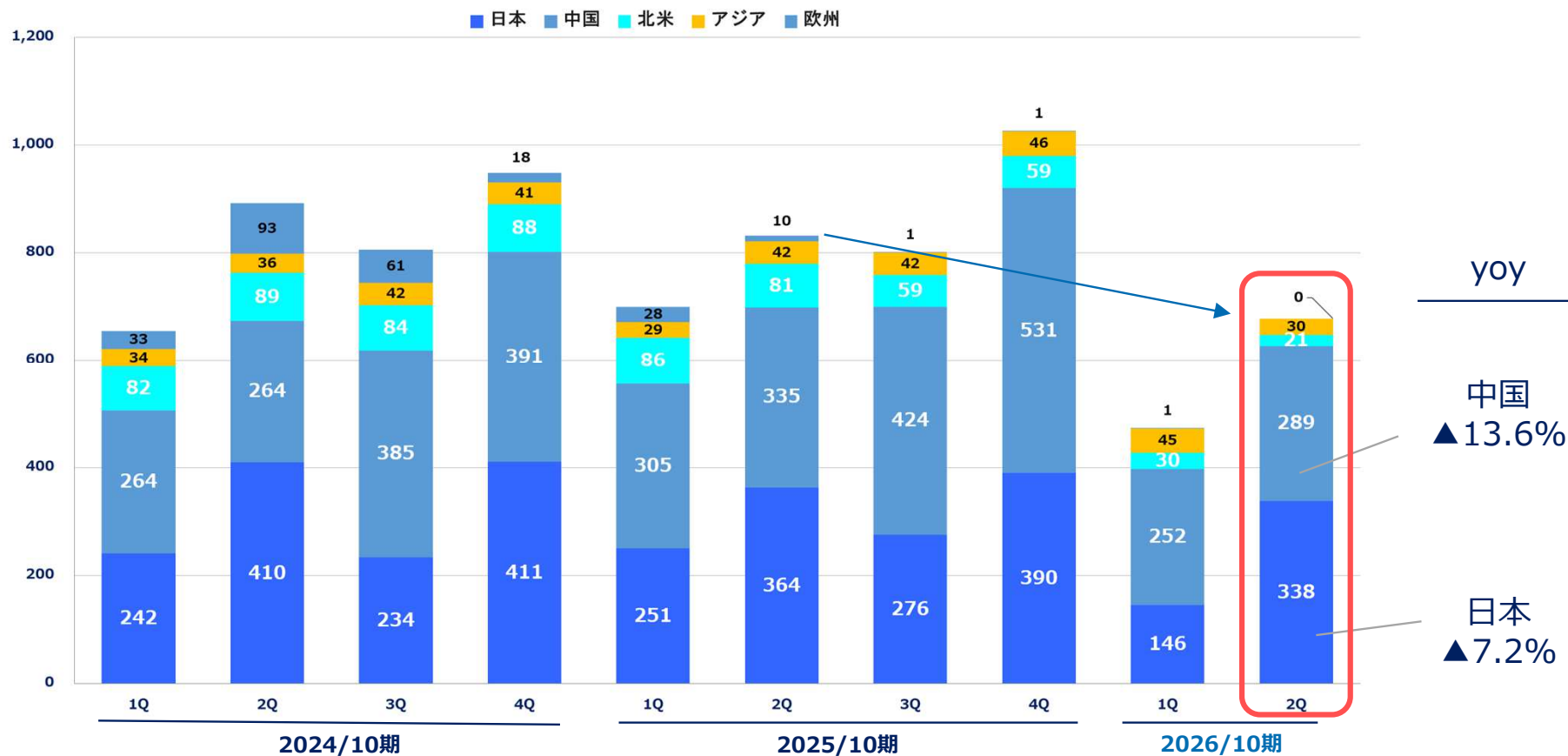
(単位：百万円)



売上収益構成 - 地域別 - (四半期推移)

- 日本 : 顧客予算の縮小・中断による車載向け案件減少により前年同四半期比▲7.2%
- 中国 : 半導体市況の高騰によるスマートフォンの出荷減により前年同四半期比▲13.6%

(単位: 百万円)



※地域分類は原則、顧客所在地に依拠

3. 2026年10期 トピックス

■ 構造改革

1. 顧客課題起点の事業開発機能と技術資産化機能を再編・強化することで、案件対応で培った技術を共通基盤・製品・サービスへ展開し、収益の再現性と継続性を高める組織構造改革を推進。
 具体的には、経営資源の集中に向け、新設する事業開発部によるターゲット案件の最適化と事業化設計、CPOによる共通基盤・製品化、CFOによる資源配分規律の高度化を通じて、収益の再現性を高める。
 単発案件への対応力という強みを維持しつつ、ロイヤリティ、標準製品、SaaSを含む継続収益比率の向上を目指す。
2. 保有資産の健全化
 - (1) ソフトウェア資産の将来収益性再評価
 - (2) 次世代戦略プロダクトとの親和性の低いソフトウェアの除却及び開発中止

計上区分	主な対象資産	計上額
特別損失 (構造改革費用)	次世代戦略プロダクトとの親和性の低いソフトウェア	143百万円
特別損失 (減損損失)	その他資産	40百万円

上記の保有資産の健全化が完了し、今後の減価償却費負担が軽減されるため収益性の向上に寄与。

4. 2026年10月期 通期連結業績予想

2026年10月期 通期連結業績予想



外部環境の影響及び構造改革実施のため通期連結業績予想の修正

半導体市況の高騰によるスマートフォンの出荷調整、車載領域における開発投資の縮小・中断による影響および構造改革の実施に伴い、売上、各段階利益共に下方修正を行いました。

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想 (A)	3,500	100	150	70
今回修正予想 (B)	3,000	▲350	▲230	▲520
増減額 (B-A)	▲500	▲450	▲380	▲590
増減率	▲14.3%	-	-	-
(参考) 前期連結実績 (2025年10月期)	3,359	45	71	▲77

2026年10月期 通期連結業績予想



■ 営業活動の成果発現及び構造改革の実施により下期は回復基調

スマートデバイス領域においてスマートグラスをはじめとするスマートフォン以外のデバイスへの受注獲得が見込まれること、またDX領域について国内を中心に堅調に営業活動の成果が見られること、さらに構造改革による減価償却費減少が収益性の回復に寄与

単位：百万円

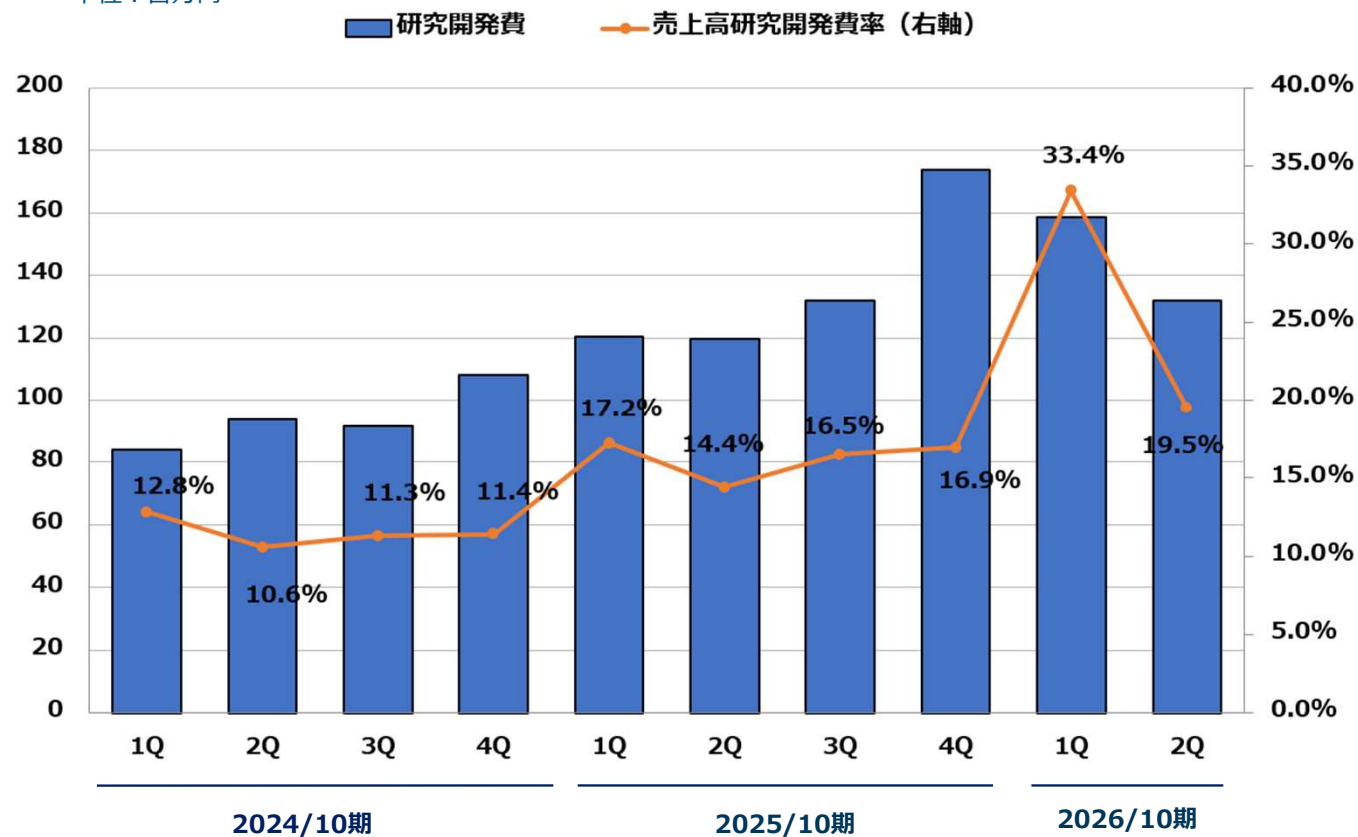
勘定科目	区分	上期 (実績)	下期 (見通し)	通期合計
売上高	金額	1,152	1,848	3,000
	構成比	38.4%	61.6%	100.0%
営業利益	金額	▲539	189	▲350
	構成比	-	-	-
経常利益	金額	▲464	234	▲230
	構成比	-	-	-
親会社に帰属する当期純利益	金額	▲681	161	▲520
	構成比	-	-	-

5. Appendix

四半期別研究開発費推移



単位：百万円



四半期別売上収益構成（数値）



（単位：百万円）

	2024/10期				2025/10期				2026/10期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	前年同 四半期 増減率
ロイヤリティ収入	384	416	526	559	429	464	508	521	311	292	▲37.1%
開発収入	260	458	274	370	261	347	231	420	142	342	▲1.4%
その他収入	9	11	10	17	8	19	62	83	20	43	+122.1%

四半期別売上収益構成 - 地域別 -



(単位：百万円)

	2024/10期				2025/10期				2026/10期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	前年同 四半期 増減率
日本	242	410	234	411	251	364	276	390	146	338	▲7.2%
中国	264	264	385	391	305	335	424	531	252	289	▲13.6%
北米	82	89	84	88	86	81	59	59	30	21	▲74.0%
アジア	34	36	42	41	29	42	42	46	45	30	▲28.0%
欧州	33	93	61	18	28	10	1	1	1	0	▲95.7%

本資料に記載の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報および仮説に基づき当社が判断したものです。当該情報および仮説に含まれる不確定要素や事業環境の変化による影響等により、実際の業績等は本資料記載の内容とは異なる場合がございます。



お問い合わせ先
コーポレート戦略部 IR担当
E-Mail : m-info-ir@morphoinc.com